

一般財団法人 同友会「法人目標」

- 24時間、迅速急性期医療と専門性を持つ医療の充実
- 医療、保健、福祉における包括サービスの提供
- 地域コミュニティ形成を目指す健康増進の推進
- すべての職種に対する医療者としての教育、研修の場の確立

2020年1月発行

2020年1月発行

2020年1月発行

2020年1月発行

藤沢湘南台病院「病院理念」

- 信頼とやすらぎのある医療
- 専門性と倫理観のある医療
- 地域に貢献する医療



2020年を迎えて
明けましておめでとうございます
地域の皆様には、健康やかに新しい年をお迎えのこと
お慶び申し上げます

一般財団法人同友会 理事長
藤沢湘南台病院 総院長
鈴木 伸一郎

2020年を迎えて

2020年を迎えて

外来診療予定表

医師の異動により変更になる場合があります

□ = 完全予約制
● = 休診

令和2年1月現在

		月	火	水	木	金	土
内科	午前	新患・予約外 松田川島	高木大野	土谷坂	菅野菅原	山本上村	消化器科担当医 菅原(第1-3週) 川島(第2-4週) 担当医(第5週)
	午後	消化器科 [予約のみ]	●	土谷	高木	松田(玲)	大熊
	午後	循環器科 [予約のみ]	大野	●	●	●	●
	午後	総合診療科 [予約のみ]	藤井	藤井	●	●	片岡
	午後	消化器科 [予約のみ]	菅野	松田	山本	高橋	●
	午後	循環器科 [予約のみ]	坂	川島 菅原 中山	川島	坂堤	●
外科	午後	総合診療科 [予約のみ]	●	●	●	太田 (第1-3週)	片岡
	午後	緩和ケア科 [予約のみ]	佐藤	佐藤	佐藤	●	佐藤
	午後	一般外科	田村	深野 熊切	田村	深野 山本院長	本庄
外科	午後	大腸肛門科	鈴木総院長 五代	鈴木総院長	鈴木総院長	●	鈴木総院長
	午後	呼吸器外科	●	熊切	●	●	●
	午後	甲状腺 心臓血管外科 乳腺外科	●	●	●	山崎 (心臓血管外科) 清水 (乳腺外科)	佐々木 (甲状腺外来)
外科	午後	一般外科	本庄 山崎(龍)	遠藤 白井	(手術)	(手術)	●
	午後	大腸肛門科	●	●	●	田中 (第2-4週のみ)	●
	午後	呼吸器外科	熊切	●	●	●	●
脳神経外科	午前	●	●	市川	●	●	●
	午後	●	数野 (第1-3-5週)	●	●	●	●

		月	火	水	木	金	土
泌尿器科	午前	大内 (10:00迄)	大内	吉田 浅井	大内 頭訪 吉田	吉田 浅井	大内 または浅井 【隔週】
	午後	(手術)	浅井	浅井	大内 吉田	(検査) (手術)	●
眼科	午前	河野	熊中	永野 河野	永野 (第2-4週) 熊中	永野 (第2-4週) 熊中 (第1-3-5週)	担当医
	午後	永野 河野	河野 熊中	永野 河野	永野 (第2-4週) 熊中	河野 熊中	●
整形外科	午前	小柳 川口 鈴木 宮田	加藤 倉澤 川副	大山 黒田 倉澤 宮田 (第2-4-5週)	大山 小柳 加藤 倉澤 川副	黒田 鈴木 宮田	担当医
	午後	●	福田 川口	●	小柳 齋藤	福田 川口	●
健康スポーツ部	午前	●	福田 川口	●	小柳 齋藤	福田 川口	●
	午後	●	福田	●	高尾	福田 川口	●
皮膚科	午前	井上 鈴木	井上	井上 鈴木	井上 (第1-3週) 鈴木	井上 鈴木	鈴木 (第1-3週) 井上 (第2-4週) 第5週休診
	午後	井上 鈴木	井上 鈴木	井上 鈴木	鈴木 (第1-3週) 第2-4-5週休診	井上 鈴木	●
形成外科	午前	小久保 前田	小久保	小久保 前田	(手術)	小久保 前田	小久保 前田
	午後	●	●	●	●	●	●

* 内科新患・予約外の患者様は、外来担当表のとおりのため医師の指定は出来ません。
* 消化器科・循環器科・外科・整形外科・泌尿器科(午後)・総合診療科(午前、午後)は、
専門外来(完全予約制)となりますので一般外来は休診となります。

- ご不明な事がありましたら医事課窓口にお問合せ下さい。

無料シャトルバス時刻表(巡回マイクロバス)

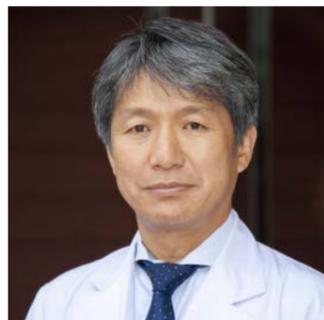
平成30年1月現在

長後駅・湘南台駅方面					
藤沢湘南台病院	長後駅東口	湘南台駅東口	藤沢湘南台病院	平日	
7:45	長後駅から病院へ直行	7:50			
8:05	長後駅から病院へ直行	8:10			
9:45	9:50	9:55	10:05		
10:30	10:35	10:40	10:40		
11:00	11:05	11:10	11:20		
14:00	14:05	14:10	14:20		
14:35	14:40	14:45	14:45		
綾瀬市上土棚方面					
藤沢湘南台病院	長後駅東口	上土棚団地前	長後駅東口	藤沢湘南台病院	
8:20	8:25	8:35	8:48	8:53	
12:35	12:40	12:53	13:06	13:11	
上飯田・いちよう団地方面					
藤沢湘南台病院	団地入口	いちよう団地	集会所前	下和田	藤沢湘南台病院
9:05	9:10	9:14	9:19	9:23	9:30
13:20	13:25	13:29	13:34	13:38	13:45
14:55	15:00	15:04	15:09		

長後駅・湘南台駅方面					
藤沢湘南台病院	長後駅東口	湘南台駅東口	藤沢湘南台病院	土曜日	
7:45	長後駅から病院へ直行	7:50			
8:05	長後駅から病院へ直行	8:10			
9:45	9:50	9:55	10:05		
10:30	10:35	10:40	10:40		
10:50	10:55	11:00	11:00		
12:20	12:25	12:30	12:40		
14:25	14:30				
綾瀬市上土棚方面					
藤沢湘南台病院	長後駅東口	上土棚団地前	長後駅東口	藤沢湘南台病院	
8:20	8:25	8:35	8:48	8:53	
13:40	13:45	13:58	14:11	14:16	
上飯田・いちよう団地方面					
藤沢湘南台病院	団地入口	いちよう団地	集会所前	下和田	藤沢湘南台病院
9:05	9:10	9:14	9:19	9:23	9:30
12:55	13:00	13:04	13:09	13:13	13:20

慢性期部門 活性化プロジェクト

「人」に FOCUS した成長戦略

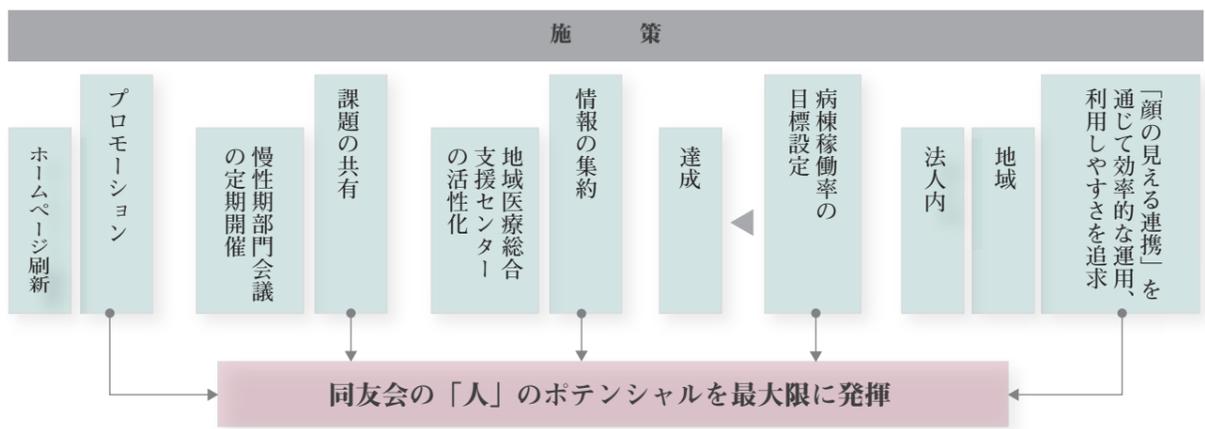
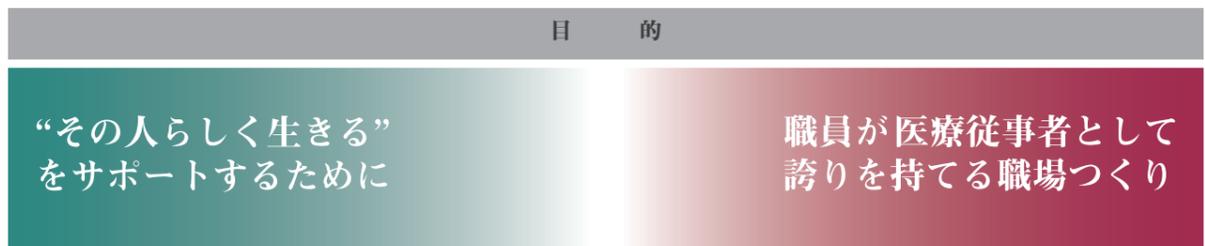


法人統括戦略本部長・常務理事
地域医療総合支援センター長
藤井真

慢性期部門活性化プロジェクトでは、「人」に Focus した成長戦略」として同友会で働く人々のポテンシャルを最大限に生かすことを基本方針としております。またアメリカの実業家 Jack Welch の “Change before you have to” という言葉にあるように常に時代の動きを捉え変革し続けることを意識しています。

慢性期部門活性化プロジェクトでは、藤沢北部の地域住民の方々が安心して暮らせる体制を整え、「その人らしく生きる」をサポートすること、および同友会の職員ひとりひとりが医療従事者として誇りを持てる職場をつくることを目指しております。

今回、プロジェクトの施策、今後の課題について図表でご紹介させていただきます。



明けましておめでとうございます



藤沢湘南台病院 院長
山本 裕司

昨年は皇位継承に伴い元号が平成から令和に代わりました。それに伴い即位の礼や大嘗祭の儀式を見て改めて日本の歴史・文化の奥深さを認識し、日本人として誇りを持たれた方は多いと思います。また、小惑星リュウグウに向かった探査機「はやぶさ2」が無事着陸に成功し、ナゾ多き太陽系の誕生について解明する手がかりとなる惑星の地下の物質を採取し、現在地球に向かっていることは「存じの通りで、これもまた日本人にとって誇りの持てるニュースでした。」

一方で、近年日本を襲う大規模災害は化石燃料社会が引き起こす地球温暖化が原因の一つと考えられています。昨年暮れにスペインでCOP25が開催され地球温暖化について協議はされましたが、各国の利害が絡み有効な対策には至っていないようです。そんな中、吉野彰先生がりチウムイオン電池の基本技術の開発に貢献したとしてノーベル化学賞を受賞されました。小型・

軽量の電池で多量の電気を蓄えることができ、近い将来、太陽光などの電力を蓄えることで脱化石燃料社会を可能に出来るのではないかと期待するところです。

環境問題で解決しなければならぬもう一つの問題に、海洋に廃棄される非分解性の海洋プラスチック問題があります。随分前になりますが、私が興味を持ったのはある種の細菌は飢餓に備えて体内にポリエステルを蓄え、必要に応じて酵素により分解し、エネルギー源にしている話でした。中でもポリγ-ヒドロキシブチレート（P（3HB））は酵素だけでなく加水分解によって分解され、最終的にアセチルCo・Aになり、TCAサイクルに取り込まれエネルギー源として利用されます。しかも炭素（C）と水素（H）と酸素（O）だけからなる構造なので体内では無害であり、こうした生分解性プラスチックは土壌でも海水でも細菌により分解され、そして取り込まれることで自然に消滅し環境問題を解決すると考えられ研究が進められてきました。

20年以上前になりますが、大学在任中、抗がん剤を含有させたP（3HB）からなるマイクロカプセルを作製し、その効果を研究していた頃を思い出された年でした。その後こうした生分解性プラスチックはポリグリコール酸・ポリ乳酸の共重合からなるバイクリル系（体内で分解する縫合糸）や植物性

の生分解性プラスチックであるセルロースからなるセブファイルム（癒着防止フィルム）などが医療分野も含め多岐にわたって応用されるようになってきました。今では釣り糸等にも利用されていて、日常生活において普及が進めば海洋プラスチック問題も多少解決に役立つと期待しています。

当院に目を移すと、昨年の出来事では手術支援ロボット「ダヴィンチ」を6月に導入し、直腸癌、前立腺癌での手術を行っていただきます。より精度の高い手術を可能にし、患者さんへの侵襲も低く、手術成績の向上に繋がるものと期待しています。

また電子カルテの更新を行い効率よく診療が進んだことで、患者サービスの向上に繋がればと思っています。さらに救急患者の積極的な受け入れが職員に浸透したことで、救急車の受け入れ件数も4000件に迫る勢いでした。特に藤沢市北部からの救急搬送件数が増え、地域医療への貢献が根付いてきた気がします。

一方で、療養病棟を担当して頂いた関先生が昨年3月に交通事故で逝去され、当院にとって貴重な人材を失うことになりました。ここに謹んでお悔やみ申し上げます。関先生逝去後は元平塚共済病院副院長の白石龍二医師が赴任され、療養病棟を担当しています。経験豊かな先生で、地域のため

に尽力して頂けると期待しております。

2020年は診療報酬改定の年です。国は社会保障費5300億円を医療費から捻出しようとしており、ますます厳しい医療環境になることが予測されます。それに加え、政府は「地域医療構想」「働き方改革」「医師確保」の3つの政策を進めて行く方針で、病院にとっては今まで以上に効率性を図り、安全で質の高い医療が求められます。さらに今年は日本病院機能評価更新の年（安全安心な医療、患者満足度の向上）の向上に向けて努めて参ります。それにはプロジェクトチームを中心とし、全職員がまさに「ワン・チーム」の精神で取り組むことが重要と考えています。

近年、地震や台風などによる大規模な自然災害に襲われることが多くなってきました。藤沢市もいつ災害に襲われるかわかりませんが、そうした非常事態に備えて準備が必要と考えています。入院および外来患者さんの安全確保、ライフラインの確保及びその対応、地域住民の健康管理及び安全などあらゆる場面を想定したマニュアル作りも病院だけでなく法人全体の課題かと思っております。

今後ますます地域にとって必要とされる病院になる事は勿論ですが、健康で住みやすい街作りにも尽力して参ります。皆様のご支援をお願いするとともに、今年も皆様にとって良き年になるよう祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。